

モーリシャス トラベルインフォメーション

ビザ

日本人がモーリシャスに入国する際、観光目的であればビザは不要。パスポートの有効残存期間が6ヶ月 + 滞在日数以上必要。ただし、帰国便がオープンの航空券を持っている場合や入国カードにホテル名を記入していない場合は入国の際思わぬトラブルに巻き込まれる場合があるので注意が必要。

言葉

公用語は英語。日常会話ではフランス語やクレオール語も使われている。

通貨 カード

通貨はモーリシャスルピー(Rs) 1Rs = 約3円(2010年4月現在)。補助通貨としてセント(¢)がある。1Rs = 100¢。空港内にある銀行は飛行機に到着時間に合わせて営業しているため、到着時に日本円をルピーに両替することが可能。また、市中銀行やほとんどのホテルでも日本円からの両替が可能。ただし日本円のトラベラーズチェックは銀行により受け付けない所もある。ルピーを再両替する際は両替した時のレシートが必要。日本円に替えられない場合もあるので出来るだけ使い切ること。ビザ・マスターカードはほとんどの場所で利用出来るが、アメックス・ダイナース・JCBは場所によっては使用出来ない。

税関

スピリッツ類1リットル、ワインまたはビール2リットル以内、タバコ250g以内、オードワレ200cc、香水100ccまでが免税。

シーズン 気候 服装

常夏の島だが、大別すると暑い11月～4月(平均気温30℃)と爽やかな気候の5～10月(平均気温27℃)の2季に分けられる。7・8月は風の強い日が多いため、カーディガンやトレーナーなど上にはあるものを持って行くといい。日中は年間を通して泳ぐことが可能。1月下旬～2月中旬頃がサイクロンのピークに当たるが、通常ロドリゲス島(モーリシャスの東約560Km)近辺で発生して来るので、その間に勢力が弱まることが多い。

交通機関

鉄道はないため、交通手段はバス、レンタカー、タクシーになる。レンタカーは国際免許証があれば、空港やホテルで手配出来る。車は日本と同じ右ハンドル、左側通行。ただし、幹線道路を除き、道路状況が悪く、交通事故も多いため注意が必要。タクシーはメーター制ではないため、ホテルで料金が設定されている。

チップ

ヨーロッパからの旅行者が多いリゾートのため、チップの習慣がある。ポーターは荷物1個につき15～30ルピー程度。ドライバー・ガイドチップは半日観光でそれぞれ100ルピー程度、終日観光はそれぞれ200ルピー程度が目安。

営業時間

銀行 月曜日～木曜日 09:15-15:15 / 金曜日 09:15-17:00(銀行によって違う)

商店 09:30-17:30くらいまで。商店の多くは土曜の午後、日曜・祭日は休み。

電気器具

電圧は220ボルト(50サイクル)。日本の製品は変圧器が必要。プラグは主にBF。モーリシャスの形状はB、C、B3、BFで、ホテルによっては複数の形状が使われています。

飲料水

水道水も飲めるが、ミネラルウォーターの方が良い。

時差

グリニッチ標準時より4時間先、日本より5時間遅れ。

予防接種

基本的には必要ないが、黄熱の汚染地域及び常在地域(ケニア・タンザニアなども含む)滞後に入国する場合は必要。

	A	B	C	B3	BF	O	SE
プラグ形状							
コンセント形状							